

◆会長/加藤 明博 ◆幹事/川村総一郎

◆司会=五味武嗣 SAA

◆ゲストビジター=諏訪ローターアクトクラブ: 瀬戸竜紀様、大槻遼太様、玉本祥大様

◆会長告知・加藤明博君=今日は思い出について、話をします。私は夕方家に帰ると、まずスーツ、私はこれを鎧とか戦闘服と呼んでいます、これをパジャマに着替え、手と顔を洗い、そのあと一人で、お酒を飲みます。お酒は、芋の焼酎かバーボンです。テレビも付けずに一人でチビチビと呑んでいる時、良く昔の事を思い出します。

若い頃は思いだせることも少なかったのですが、この年になると沢山の思い出が、詰まっています。どんな時も私を信じて愛してくれている母親。私と母親の為に一生懸命に働いてくれた義理の父。満員電車に乗り通った高校、初めて行った海外旅行、もう亡くなってしまいました。長男直樹が生まれた時、私はこの様な事を思い出しながら一人でお酒を飲む事が大好きです。人生を回想しながら人の繋がりを確認します。私には血の繋がった家族は年老いた母親と、次男の英樹しかおりませんが、しかしながら私には、振り返ればここにおられるロータリーの皆さんを始め多くの親友がいる事を気づかされます。

今夜は本当に久しぶりの夜間例会です。お酒を酌み交わしながら、友情と夜を深めたいと思っていますので宜しくお願いします。

◆幹事報告・川村総一郎君=本日は、幹事報告はございません。

◆青少年奉仕委員会委員長・花岡秀則君=本日は皆さんお忙しいところありがとうございます。諏訪ローターアクトの皆さんをお迎えした合同例会となりますが会長の瀬戸様以下、大槻様、玉本様よろしくお願ひいたします。コロナ禍でありまして、夜間にこうした例会をぬのはんさん、この会場で実施できるのは2年ぶりとなります。「ローターアクトクラブとは」をテーマに第2600地区青少年奉仕委員会、ローターアクト小委員会委員の玉本会員にお話をいただきます。続いて諏訪ローターアクトクラブの今期の活動や取り組みについて、瀬戸会長からお話をいただきます。玉本会員よろしくお願ひいたします。

◆国際ロータリー2600地区青少年奉仕委員会ローターアクト小委員会委員・玉本広人君=ローターアクトクラブは、リーダーシップの能力を

磨き、世界中に友人を作りながら社会で起きている様々な課題に取り組むことへの意欲にあふれた18歳以上の青年男女のためのクラブです。

ローターアクトクラブは、国際ロータリークラブの加盟クラブです。昔は国際ロータリーに加盟してなくて、あくま



でも諏訪ロータリークラブが作って指導しているクラブだったんですけど、今は国際ロータリーに加盟せよということになっていまして、会費も取られています。ローターアクトの仲間は現在、世界180カ国1万698クラブ、220万3000何人。日本では334地区、297クラブ約3200人います。10年前は、28クラブ4600人、世界の方は167カ国の8000クラブで、世界では増えているんですが、日本ではどんどん減っています。諏訪クラブも多い時は10何人、結成のときは20何人いたんですけど、今は5人で実質3人になっています。これは長野県も一緒です。ローターアクトの目的ですが、ロータリアンとしては、ローターアクトの若い人たちをちゃんと育てて、職業的なスキルとか、リーダーシップのスキルを養うことにしなさいということです。もう一つは、アクトーにとっての目的。課題の解決を通じて、国際奉仕とか、職業的ネットワークを広げながら、地元と海外の友人を作り、超私の奉仕の重要性を認識しつつ、楽しむことが目的に入っています。世界中に仲間がいますので、世界中の仲間と繋がって、世界平和のためにみんな仲良くなって、人のためになることをしましょうと、そういう人材になってください。そういう人材を育てるとするのがローターアクトの目的です。2017年6月以前のローターアクトの目的は、こんな風に規定されていました。親睦と奉仕活動を通じてというのは、全く変わっていません。全世界の人々に、信頼関係を推進ということです。いろいろありますけど、そんなに変わってないです。実際、奉仕を通じての親睦ということでフェロウシップスルーサービス。これがローターアクトの標語です。奉仕を通じての親睦です。親睦がなぜ奉仕に繋がるのかっていうのは、お配りした資料の1番裏に、2700地区の4年くらい前のローターアクト委員長さんが書いた文章の抜粋ですが、そこにいい感じで書いてあったので、読んで見ていただければと思います。配った資料は、ローターアクトハンドブックと言って、ローターアクトの運営の仕方とか、作り方とかが載っている本です。その中から、ロータリーとローターアクトとの関係性を示した部分だけ抜粋してあります。読んでみてください。提唱ロータリークラブは、ローターアクトクラブを結成した後は、指導と助言を与える責任を有することで、ローターアクトクラブをロータリークラブはしっかり面倒見なきゃいけないんですね。ローターアクトの例会や行事、大会へロータリーが参加する。あるいは四半期に一度、今日みたいな形でロータリーの例会や特別行事に招待する。年に4回ぐらいには招待しなさいということです。

現在、2600地区。飯田、松本、伊那、諏訪、長野、長野東、上田ともあったんですが、今は飯田が6名。松本が5名、伊那は消滅しました。諏訪が5名、長野は活動停止中。長野東も2名いるんですが、活動は停止しておるようです。上田が4名ということで、現在長野県だけで22名。非常に少ないです。私が委員長をやっていた時は、70-80人ぐらいいたので本当に少なくなり非常に困っています。先日、地区チーム会議があり、その中で出た話が長野県のローターアクト全部を1つにして、2600地区のローターアクトとして、クラブとして活動したらどうかという話がありました。提唱クラブの承認が必要なので、どういう話になるかわかりませんが、集まっても20何人なので。今度、逆にそれらを支援するロータリー側が支援する意欲がなくなっちゃうんじゃない

いかとか、いろんな話があります。その他、活動については、瀬戸君からお話をいただければと思いますが、若い人たちが集まっているいろいろなことを考えることによって、ロータリーの精神を身につけてもらおうという会でありますので、ぜひ皆さん応援していただきたいと思います。

◆諏訪ロータリーアクトクラブ会長・瀬戸竜紀君＝諏訪ロータリーアクトクラブの

活動報告を行わせていただきます。例会は月に2回行っています。今期は、まだ新型コロナウイルスの影響でzoomなどを使っ



てやっています。令和4年11月27日に自分のお客さんの岡谷市の若松寿司さんにロータリーアクトの3名が訪ね、創立50周年のマグロの解体ショーをさせていただきました。これが実際、持って行った40キロのバチマグロを解体した時の写真です。始まる前で、この日で大体120人ほどお客さまも加えてちょっと緊張したんですけど、うまくやることができました。また、よければ、何かイベントがあればこういうことをどんどんやっていきたいと考えています。これが実際に切っているとこです。これが「すしざんまいの」玉本さんバージョンってことで、すしざんまいでやっています。

次は、去年の12月11日に諏訪ロータリーアクトクラブの招待行事です。当初はワカサギ釣りを計画していたんですけど、当日天候が荒れて船が出ないってことで、急遽会社巡りをして、立石公園などを観光しました。この時に、石川県の近藤さんも参加していただきまして少人数ではあるんですけど、しっかり諏訪のいい所、御柱などを紹介できたと思っています。これが最後、立石公園で撮った時の写真になっています。

先日松本の合同例会で、プロレス例会をやりたいうことで長野市まで行ってプロレスを慣行してきたんですけど、正直言って、自分と大月は初めてのプロレスで、何がなんだかかわかんなかったんですけど、すごく楽しい例会になっています。松本では、趣味例会を今後やっていきたいということもありましたので諏訪も、何か3人趣味を合わせたことで例会になればと思って今後やっていきたいと思っています。

次は、ずっとやってきている諏訪地域活性化プロジェクトです。内容は、諏訪地域の飲食店、個人営業のお店を巡るなどをしてやってはいるんですけど、まだ全然進めてはいないので、今後また暖かくなってきて、コロナが収まってきたら、またいろんなお店に行って、そういうところをアピールして、instagramなどに載せてやっていきたいと思っています。以上で、諏訪ロータリーアクトクラブの活動報告を終わりにします。ありがとうございました。

◆乾杯・北川和彦直前会長



◆WBCの日本対韓国戦の観戦も楽しみました。

◆手に手つないで



◆最後は、山田文雄会長エレクトの音頭で万歳三唱

◆今後の例会日程

3/17(金)	クラブ協議会 (上半期会計報告)
3/24(金)	準法定休日
3/31(金)	クラブフォーラム (会員卓話)